

News Release

2020年9月24日
株式会社日立製作所
株式会社日立ビルシステム

日立エレベーターのLINE 公式アカウントと友だちになって非接触でエレベーターを利用できる「LINE 連携タッチレスエレベーター呼びサービス」を受付開始
建物内の非接触での移動・生活を実現するタッチレスソリューションのラインアップを強化



「LINE 連携タッチレスエレベーター呼びサービス」の画面イメージ

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)と、株式会社日立ビルシステム(取締役社長:光富 眞哉/以下、日立ビルシステム)は、建物内の非接触での移動・生活を実現するタッチレスソリューションのラインアップを強化します。

具体的には、LINE 株式会社(代表取締役社長:出澤 剛/以下 LINE)との連携により、日立ビルシステムのエレベーターのLINE 公式アカウントと友だちになることで、利用者個人のスマートフォンでエレベーターの呼び出しと行先階登録が行える「LINE 連携タッチレスエレベーター呼びサービス」を開発し、2020年10月16日から受付を開始します。本サービスは、日立ビルシステムと保全契約を結び、遠隔監視を行っている国内約1.5万台の標準型エレベーターが対象*1で、保全契約に含まれるサービスとして提供します。

また、新設エレベーター向けには、エレベーターホールや乗りかご内のセンサーに手をかざすことでボタンに触れずにエレベーターの呼び出しや行先階登録の操作が行える非接触登録装置の開発を進めており、2020年11月に提供開始*2する予定です。

新型コロナウイルスの感染拡大を契機として、社会のあり方や人々の生活様式が変容し、新常态（ニューノーマル）を見据えた社会課題が生まれています。ビル分野においても、感染リスクの低減に向けて、エレベーターなどの共用設備に手を触れない形での移動や、ソーシャル・ディスタンスといった新たな対応が求められています。

こうした背景のもと、日立と日立ビルシステムは、2020年4月に、建物内の非接触での移動・生活を実現するタッチレスソリューションを体系化^{*3}しました。具体的には、防犯カメラなどでの顔認証・人流解析や、ハンズフリータグ^{*4}の活用による、建物エントランスからエレベーター、執務室などの専有部までの非接触での建物内移動、コミュニケーションロボット「EMIEW」による対面業務の代替、サーマルカメラ^{*5}による発熱者検知^{*6}などのソリューションを提案しています。

今回、日立と日立ビルシステムは、主として既設エレベーター向けに、コストをかけずに非接触での利用を実現するソリューションとして「LINE 連携タッチレスエレベーター呼びサービス」を開発しました。また、主として新設エレベーター向けに、よりシンプルかつスムーズな利用を可能にする非接触登録装置の開発を進めており、2020年11月にラインアップに追加する予定です。

日立と日立ビルシステムは、今後もニューノーマルに対応したビル・マンション向けの製品・サービスの開発、提供を通じて、安全・安心・快適な建物内の移動・生活の実現に貢献します。

■「LINE 連携タッチレスエレベーター呼びサービス」の概要

1. LINE アプリでエレベーターを呼び出してタッチレスで利用可能

「LINE 連携タッチレスエレベーター呼びサービス」は、日立ビルシステムのエレベーターのLINE 公式アカウントから、エレベーターの呼び出しと行先階登録が行えるサービスです。利用者は、エレベーターホールなどに用意したQRコード(二次元バーコード)を読み込み、利用したいエレベーターのLINE 公式アカウントを友だち登録し、トーク(メッセージのやり取り)でエレベーターの呼び出しと行先階の登録を行うことで、ボタンに触れることなく、エレベーターを利用することができます。自宅や職場など、利用機会が多い建物のエレベーターのLINE 公式アカウントをあらかじめ友だち登録することで、よりスムーズな利用が可能になります。

2. ビルオーナーも利用者も利用しやすいサービス提供形態

本サービスは、日立ビルシステムと保全契約を結び、遠隔監視を行っている標準型エレベーターが対象^{*1}で、保全契約に含まれるサービスとして提供します。また、日本国内で8,400万人以上の月間アクティブユーザー^{*7}を持つLINE アプリをサービス基盤としたことで、高いユーザビリティ、利便性を実現しました。

■「LINE 連携タッチレスエレベーター呼びサービス」の利用方法



- (1)エレベーターホールのポスターのQRコードを読み込み、利用したいエレベーターのLINE公式アカウントを友だち登録。
- (2)友だち登録を行ったエレベーターとトークを開始。
- (3)現在階と行先階を選択し、エレベーターの呼び出しをかける。
- (4)エレベーターの呼び出し手続き完了。

■非接触登録装置の概要

非接触登録装置は、エレベーターホールの乗り場ボタン(上下ボタン)や、乗りがご内の行先階ボタンとセンサーを併設し、直接ボタンに触れることなく、センサーに手をかざすことで、エレベーターを呼び出し、行先階を登録することができる装置です。新設エレベーター向けのオプション(有償付加)仕様として提供する予定で、既設エレベーターへの設置については個別に対応を検討します。

- *1 2014年5月以降に販売開始した標準型エレベーター「アーバンエース」および2015年10月以降に販売開始したりニューアルメニューで制御リニューアル(既設のエレベーターのまま、制御盤や巻上機などの主要機器を入れ替えるリニューアル)を実施した標準型エレベーターが対象となります。なお、エレベーター仕様や回線種別により、本サービスを導入できない場合があります。
- *2 2014年5月に販売開始した標準型エレベーター「アーバンエース」を対象とし、オプション(有償付加)仕様として提供開始する予定です。
- *3 2020年4月28日付ニュースリリース「建物内の非接触での移動・生活を実現するビル・マンション向けタッチレスソリューションの展開について」
<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2020/04/0428.html>
- *4 携帯しているだけで入退室が可能なタグ。
- *5 人の額から発せられる遠赤外線を検出して温度を測定するカメラ。
- *6 2020年6月30日付ニュースリリース「建物内の非接触での移動・生活を実現するタッチレスソリューションとしてサーマルカメラによる発熱者検知システムおよび運用支援ソリューションを販売開始」
<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2020/06/0630.html>
- *7 2020年6月末時点、LINE調べ。

■商標注記

- ・LINE 及び LINE ロゴは、LINE 株式会社の登録商標です。
- ・QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。

■with コロナ社会の建物内の移動を考えるトータルソリューションに関する Web サイト

<http://www.hbs.co.jp/covid/index.html>

■Hitachi Social Innovation Forum 2020 TOKYO ONLINE での紹介について

「LINE 連携タッチレスエレベーター呼びサービス」は、日立が 2020 年 11 月 4 日(水)～6 日(金)に開催する「Hitachi Social Innovation Forum 2020 TOKYO ONLINE」において、ご覧いただけます。

11 月 4 日(水)14:00 から開催する「DX でもっと楽に！もっと快適に！ニューノーマル時代のビル管理をご提案」の中で紹介する予定です。

■Hitachi Social Innovation Forum 2020 TOKYO ONLINE オフィシャルサイト

<https://hsiftokyo.hitachi>

■日立製作所について

日立は、IT(Information Technology)、OT(Operational Technology)およびプロダクトを組み合わせた社会イノベーション事業に注力しています。2019 年度の連結売上収益は 8 兆 7,672 億円、2020 年 3 月末時点の連結従業員数は約 301,000 人でした。日立は、モビリティ、ライフ、インダストリー、エネルギー、IT の 5 分野で Lumada を活用したデジタルソリューションを提供することにより、お客さまの社会価値、環境価値、経済価値の 3 つの価値向上に貢献します。

詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp/>)をご覧ください。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立ビルシステム カスタマーサポートセンター
電話:0120-7838-99(フリーダイヤル)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
